

霊よ、四方から吹き来たれ！

吉田 隆

第二回東北日・韓キリスト者信仰復興聖会の開催にあたり、私たちの主の御名を心よりあがめます。このたびも東北にいるキリスト者たちの信仰の復興のために、韓国の多くの兄弟姉妹たちが祈ってくださり、備えてくださり、捧げてくださいました。私はこのことだけで、すでに心が感謝で一杯です。領土問題で険悪になっている両国の関係を超えた、この世のものではない、一つの神の国の一つの神の家族の美しい姿をここに見るからです。

この度のテーマは、エゼキエル書 37 : 9 から取られました。神の民についての黙示的預言が語られるエゼキエル書 37 章以下は、福島のことを覚えて祈る今回の聖会にとって、とても大切な御言葉であると思います。

望みも消え失せんばかりの枯れた民に神の霊が吹き来たと、彼らは復活する。よみがえった神の民は、分裂することなく一人の王によって永遠に治められる一つの民となる。そして、この神の民が礼拝と祈りを捧げる場所から湧き出る命の水は全地を潤し、死せる大地も川も海もすべてを再生させて行くのです！

この神の民全体が復活を遂げるためには、霊が“四方から”吹き来たらねばなりません。どうぞ被災地にいる神の民のため、とりわけ福島を愛する兄弟姉妹たちのために、聖霊の風を“四方から”祈り求めましょう。そうして、必ずや復活の日が訪れることを信じて祈り続けましょう。